【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成17年7月21日(2005.7.21)

【公開番号】特開2004-144851(P2004-144851A)
【公開日】平成16年5月20日(2004.5.20)
【年通号数】公開・登録公報2004-019
【出願番号】特願2002-307430(P2002-307430)
【国際特許分類第７版】
　Ｇ０２Ｆ　1/167
【ＦＩ】
　Ｇ０２Ｆ　1/167

【手続補正書】
【提出日】平成16年11月26日(2004.11.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　所定間隙を開けた状態に配置された第１基板及び第２基板と、これらの基板の間隙に配置された間隙部材と、これらの基板の間隙に配置された液体と、該液体に分散された複数の帯電粒子と、前記液体に近接するように配置された第１電極及び第２電極と、を備え、これらの電極の間に電圧を印加して前記帯電粒子を前記第１電極の側又は前記第２電極の側に移動させることに基き表示を行う電気泳動表示装置を製造する電気泳動表示装置の製造方法において、
　前記間隙部材や前記液体や前記帯電粒子を挟み込むように前記第１基板及び前記第２基板を配置する工程と、
　緩やかな面内分布を示すように圧力を前記第１基板及び前記第２基板の少なくとも一方に加え、前記第１基板及び前記第２基板を前記間隙部材に密着させる工程と、
　を備えたことを特徴とする電気泳動表示装置の製造方法。
【請求項２】
　前記圧力が加えられる前記第１基板及び／又は前記第２基板がフレキシブルな材料で形成された基板である請求項１に記載の電気泳動表示装置の製造方法。
【請求項３】
　前記圧力が、流体を流体吐出手段から吐出させることにより発生させる流体圧である請求項１または２に記載の電気泳動表示装置の製造方法。
【請求項４】
　前記圧力が、押圧部材を前記第１基板及び前記第２基板の少なくとも一方に接触させることにより発生させる圧力である請求項１または２に記載の電気泳動表示装置の製造方法。
【請求項５】
　前記密着工程において、前記第１基板及び前記第２基板の少なくとも一方に加えられる圧力の面内分布を、時間と共に変化させる請求項１ないし４のいずれか１項に記載の電気泳動表示装置の製造方法。